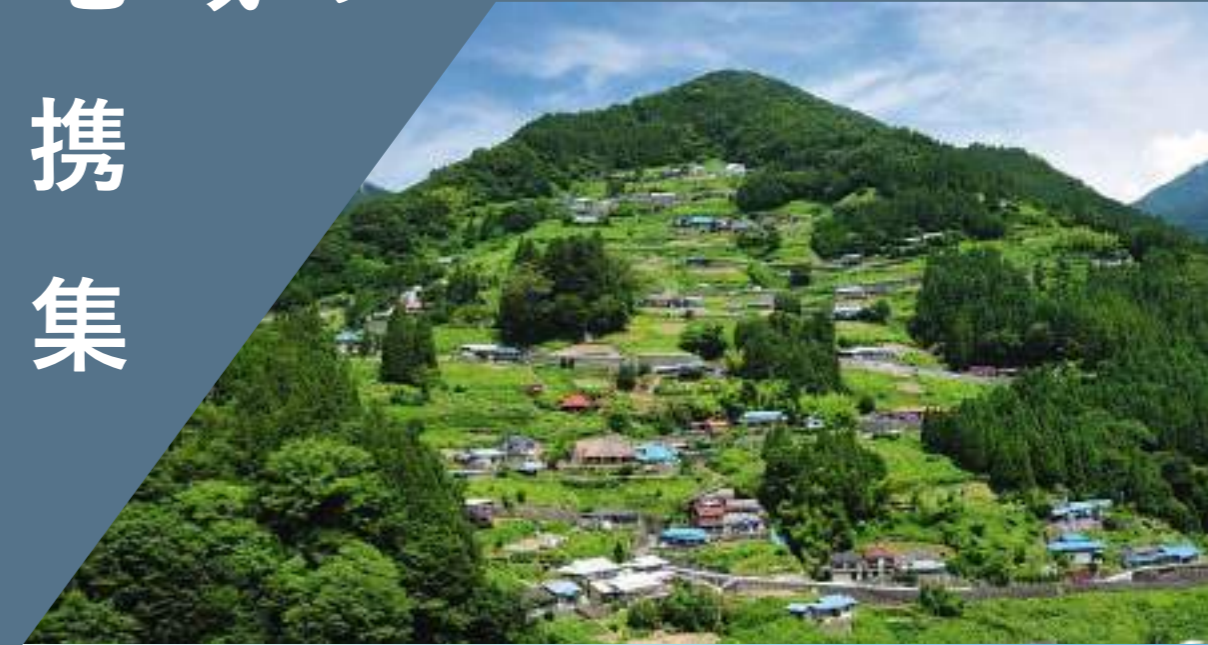


企業と  
農泊地域の  
連携事例集

企業と農泊地域の  
連携事例集



LEARNING, CREATION,  
AND RELATIONSHIP POPULATION

越境の先にある農山漁村との出会いが育む

**「学び・創造・関係人口」**

## はじめに

近年、企業には人的資本経営が求められています。

人的資本経営とは、従来のように人材を「コスト」や「資源」ではなく、従業員が持つ知識や能力を「資本」とみなして投資の対象とし、持続的な企業価値の向上につなげる新しい経営のあり方です。

人的資本に関する情報は「企業の将来性を判断する指標」として、投資家などのステークホルダーが情報開示を強く求めており、企業にとって人的資本経営への取り組みと、人的資本の情報開示はますます重要性を増す取り組みといえます。

経済産業省が公表している「持続的な企業価値の向上と人的資本に関する研究会」の「人材版伊藤レポート」には、人材戦略に必要な5つの共通要素「1.動的な人材ポートフォリオ、2.知・経験のダイバーシティ&インクルージョン、3.リスキル・学び直し、4.従業員エンゲージメント、5.時間や場所にとらわれない働き方」を挙げています。

農泊地域をフィールドとした活動は、その活動の前提となる「目的」や「課題設定」次第で、企業の人材戦略に必要なこれらの要素を提供し、「人的資本」の価値向上に資する可能性があります。

本リーフレットでは、このような問題意識のもと、企業の人材育成に寄与する農泊地域の取り組みやその前提となる企業制度、企業との連携に意欲を有する農泊地域についてご紹介します。

## 本リーフレットの使い方

本リーフレットは企業の経営戦略を担う部署・担当者、人材管理を担う部署・担当者の方向けに、企業と農泊地域の連携のあり方、具体的な事例、企業との連携に意欲のある地域情報を掲載しています。具体的には以下の3章からなります。

### 1 農泊地域における企業の活動形態

企業が農泊地域に訪問し活動する目的を「福利厚生」「越境学習」「ワーケーション」の3つの観点から基本的な制度概要とともに紹介しています。何を目的に、どのような効果を期待するのかを改めて考えるきっかけとしていただければ幸いです。

### 2 企業と農泊地域の連携事例

企業との連携を行う農泊地域へのインタビューをもとに、現在提供する企業向けのプログラムやこれまでの活動プロセスを紹介しています。企業の担当者にとっては農泊地域の実情や活動の背景を知ることができ、また他の農泊地域にとっても優良な事例として活動の参考としていただけます。

### 3 企業の受け入れに積極的な農泊地域

農山漁村地域での活動を検討する企業の担当者が、実際に農泊地域にコンタクトをとれるよう、企業受入に積極的な農泊地域を基礎的な情報とともに紹介しています。是非コンタクトを取り、企業活動の新たな取り組みのスタートしていただければ幸いです。

# 1

## 農泊地域における企業の活動形態

### 福利厚生で農泊を利用する

#### 企業の福利厚生とは

福利厚生とは、企業が従業員に対して給与や賞与以外に提供するサービスや制度のことを指します。近年、福利厚生は「第三の賃金」とも呼ばれ、実質的な手取りを増やす手段として注目されています。一定条件を満たせば費用を「福利厚生費」として損金処理でき、従業員側も課税対象外となる場合があるため、給与の直接増額より効率的な待遇改善策となり得るのです。

福利厚生には大きく、法律で企業に義務付けられている健康保険、厚生年金保険、雇用保険、労災保険などが含まれる「法定福利厚生」と、企業が独自に任意で導入する住宅手当、食事補助、自己啓発支援、社員旅行などの「法定外福利厚生」があります。

法定外福利厚生の運営を外部に代行する企業もあります。企業の福利厚生の運営を代行する企業は、従業員がポイントで自由にサービスを選べる「カフェテリアプラン」や、中小企業向けに費用を抑えて導入しやすい「パッケージプラン」などのサービス提供を行っています。

このような福利厚生代行事業者のなかには、利用者のデータ分析を通じて「従業員の満足度や定着率にどう貢献しているか」を可視化するサービスも登場しています。

#### 福利厚生としての従業員受入れ

福利厚生制度の中でも、退職金制度や家賃補助などの制度に続いて人気なのが、休暇制度やレクリエーション施設の割引優待です。

慰安を目的とした社員旅行で自然が豊富な農泊地域に滞在する企業や、研修旅行も兼ねて滞在し、現地の人の話を聞きながら、農山漁村地域の現状・課題を学ぶ機会とする企業もあります。

また、農泊地域のなかには、食農体験ネットワーク登米協議会の事例(p.7)のように企業と直接契約を交わして、従業員に施設利用券を提供することや、福利厚生を代行する企業と契約し、施設やサービスを提供する地域もあります。

#### 主な福利厚生サービス企業

- **ベネフィット・ステーション(株式会社ベネフィット・ワン)**  
レジャー施設やショッピング、グルメ、育児、介護支援など約140万件以上の優待サービスを利用できる総合的な福利厚生プラットフォームです
- **福利厚生倶楽部(株式会社リロクラブ)**  
全国約10万以上の施設やサービスが利用でき、宿泊やレジャー、育児、介護、自己啓発、健康増進など多岐にわたるサービスを、専用のWebサイトやアプリを通じて利用可能です。
- **Perk(ウォンテッドリー株式会社)**  
グルメやレジャー、スキルアップなど豊富で従業員が普段使いできるサービスがそろっています。

# 人材育成研修のフィールドとして農泊を活用

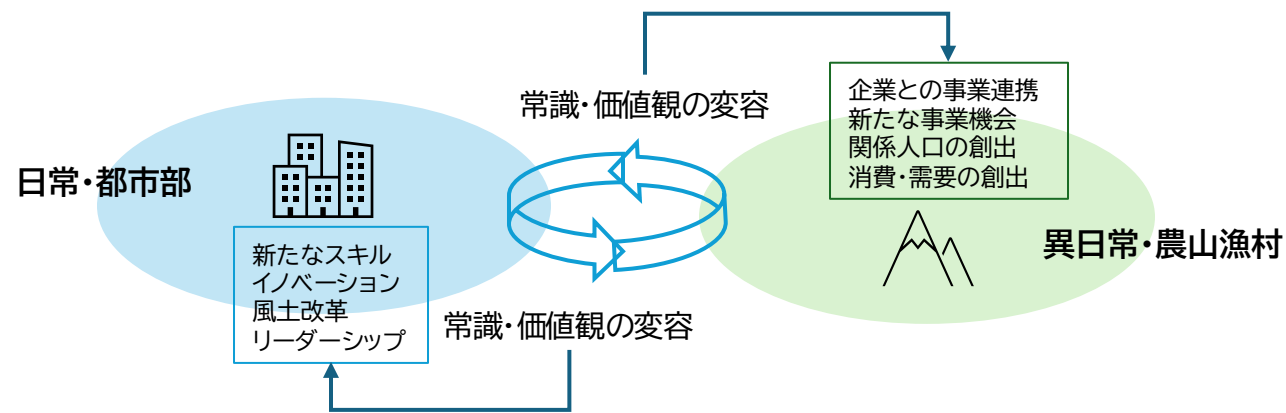
## 越境学習とは

越境学習とは、いつもいる環境(ホーム)とアウェイを行ったり来たりするなかで、ホームでの当たり前や暗黙の了解に気づくという学習方法です。越境体験を通じて、人材のスキルやコンピテンシーが変革され、イノベーション創出に資する新たなスキルやコンピテンシーを身に付けることができます。また、肩書が通用しない場所で成果を出すためには、主体性や巻き込み力を能動的に発揮する必要があります。

近年、地域への越境プログラムを実施する企業が増えています。

少子高齢化・人口減少・財政難など様々な課題が存在する「課題先進地」だからこそ、日ごろ都市部の企業で限定された業務を遂行する社員にとっては、より深く社会の問題や地域の本質を見極めるために、異分野の知見を積極的に取り入れ、現物に触れながら、地域との事業連携などの新たな価値を生み出すプロセスを経験することができるからです。

農泊地域にとっても、育成対象である企業人材の受け入れを通じて、地域にイノベーションをもたらす契機となります。滞在中の消費だけでなく、企業との事業連携のきっかけとなる可能性や、目的意識をもった人材の訪問は、関係人口につながる可能性も秘めています。



## 越境学習を提供する研修会社(一例)

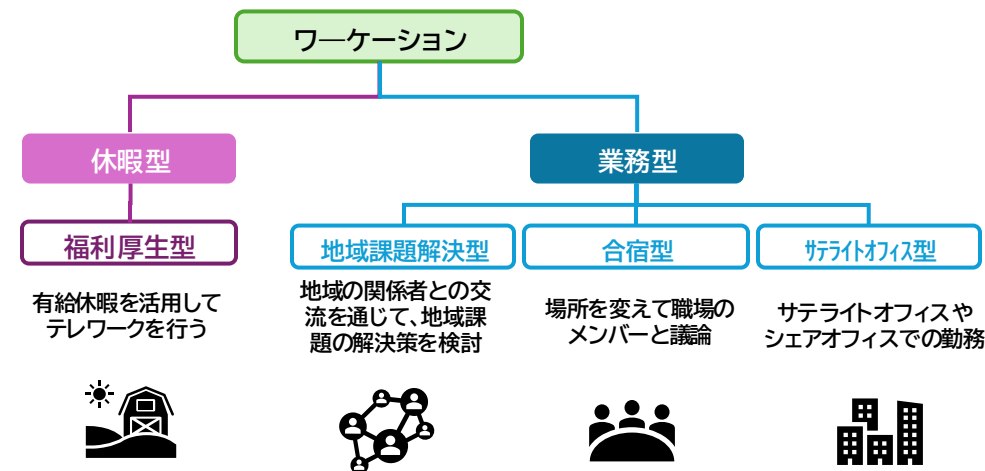
- 株式会社日本能率協会マネジメントセンター**  
 企業研修として75年以上の歴史、人材教育のための研修プログラムといった学術的知見をもち、次世代リーダーシップ教育として効果的なプログラムとして「越境学習」を開発・提供している。課題の先進地である『地域』をフィールドに覚悟・信念をもったイノベーターと一緒に取り組み、日常生活では経験できない、異質な知との出会いと、深い気づきを促し、さまざまな価値観と交わる「知の探索」により、次世代リーダー人材を育成している。
- 株式会社インソース**  
 豊富な地域創生事業の事業立案・運営の経験をもとに、地方創生事業を立ち上げられる人材育成プログラムを提供している。一度会社を客観視することで、会社に対する自立心やパーパス・ビジョンへの共感を深めながら、地域課題解決と事業との両立を実現する思考力を身につける。
  - 越境学習プログラムのコーディネート
  - 地域課題・社会課題解決と事業成長の両立に向けた伴走支援
  - 異なる知を取り入れ、イノベーションを起こす組織風土構築の伴走支援
 を提供。

# ワーケーションで農泊地域を利用

## ワーケーションとは

ワーケーションとは、Work(仕事)とVacation(休暇)を組み合わせた造語で、テレワーク等を活用し、リゾート地や自然の多い地域など、普段の職場とは異なる場所で余暇を楽しみつつ仕事を行うことです。休暇の比重の多い休暇主体と、仕事の比重の多い仕事主体の2つのパターンがあります。

仕事と休暇を組み合わせた言葉にはほかに「プレジャー(ブリージャー)」がありますが、プレジャーは、Business(ビジネス)とLeisure(レジャー)を組み合わせた造語で、出張等の機会を活用して、出張先等で滞在を延長するなどして余暇を楽しむことです。



## 導入のメリット

農泊地域では、廃校や公民館などの使われなくなった公的施設や空き家を改修してワーケーション施設として提供する地域が多く存在します。そのような地域に滞在することは、従業員にとってストレス軽減やリフレッシュの機会になると同時に、新たな出会いを通じて新しいアイデア創出の機会にもなります。受入地域にとっては関係人口の創出が期待でき、企業・従業員・地域の3者にとって様々なメリットが期待できるのです。

導入のメリット	
企業(送り手)	従業員(利用者)
<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 有給休暇の取得促進</li> <li>✓ 帰属意識の向上</li> <li>✓ 人材流出の抑制・人材確保</li> <li>✓ イノベーション創出</li> <li>✓ 地域との関係構築によるBCP対策</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 長期休暇を取得しやすい</li> <li>✓ 働き方の選択肢が増える</li> <li>✓ ストレス軽減・リフレッシュ</li> <li>✓ モチベーションUP</li> <li>✓ 新たな出会い・新しいアイデアの創出</li> </ul>
<b>地域・行政(受け手)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 閑散期の需要創出</li> <li>✓ 交流人口・関係人口の拡大</li> <li>✓ 関連事業への波及効果</li> <li>✓ 遊休施設の活用</li> </ul>	

<参考>観光庁「新たな旅のスタイル」ワーケーション & プレジャー  
<https://www.mlit.go.jp/kankocho/workation-bleisure/>

社会課題や環境問題に触れ、企業の越境学習に貢献する

越境  
学習

牡鹿半島浜泊推進協議会

## 地域の概要

世界三大漁場の金華山沖、リアス式の海と山が近い豊かな土地は、水産業の衰退とともに過疎化が進む中で、追い打ちをかけるように東日本大震災が起こった。

約30ある集落のほとんどが壊滅的な被害を受け、人口減少が加速するなか、豊かな牡鹿半島の暮らしと風景を次世代

へつなぐべく、若者や移住者たちが地域に根ざした暮らしの知恵と技術を受け継ぎながら今の時代に合わせた新しい暮らし方・生き方を提案するさまざまな取り組みを行っている。

宮城県石巻市



## 企業の受入プログラム例

## こんな人に最適

- ✓ SDGs、ネイチャーポジティブ、環境再生、地方創生、自然との共生などに興味がある。
- ✓ 蛤浜の海と山をフィールドとした実践的なSDGs、ネイチャーポジティブを学びたい。
- ✓ 地方と都市の共創に興味があり、自分も何かできることを考えたい。

## モデル滞在例

Day 1

- ◆【集合】はまぐり堂
- ◆【体験】漁業体験／【講話】代表による蛤浜の取り組みについての講話&ディスカッション
- ◆【夕食】はまぐり堂が作る海の幸たっぷりタごはんをスタッフも一緒に皆で囲みます。
- ◆【宿泊】高見<takami>

Day 2

- ◆【朝食】
- ◆【体験】・山の案内 ・沢の再生



## インタビュー

## ● 企業を受け入れるようになったきっかけは？

もともと企業にはCSRや震災復興で来ていただいていた。カフェをオープンして以降は、一般のお客さん中心に来訪いただいていたが、森林の荒廃や海水温上昇などにより、基盤である地域の一次産業の衰退が加速していった。そこで、もう一度企業研修を誘致できないかと考え、これまでの人脈を通じて受け入れを行うこととなった。最近では、ネイチャーポジティブや脱炭素など、環境をテーマに企業研修を誘致しており、地域が目指す方向に社会状況が追い付いてきたと感じている。

## ● 企業は何を目的に訪れているのですか？

社会課題の解決に興味関心のある企業が一番多い。我々からは環境や食の問題について提案しており、「ネイチャーポジティブに金融機関がどう貢献できるか」といったテーマを設定し、ディスカッションを行っている。

## ● 研修を通じた企業側のメリット・効果は？

企業が環境への取り組みや越境研修をオフィスで行っていても現場の実態を理解するのが中々難しい。震災後新しい取り組みをしている漁師や林業家と対話しながら、牡鹿半島の海と山、暮らしがコンパクトに体験できるフィールドワークに価値を感じていただいている。

## ● 今後の取り組み方針は

企業との共創事例をより増やしていきたい。日本全体で様々な受け入れ先が増えることで、本当の意味での関係人口が生まれ、都市と地方との共創がより多く生まれれば良いと思う。

本2000冊とアウトドアサウナのある貸切宿

ワー  
ケー  
ション

白川町グリーンツーリズム協議会

## 地域の概要

岐阜県の中南部にある加茂郡白川町。名前のおり美しい川に恵まれたこの地は、飛騨川に注ぐ、佐見川、白川、赤川、黒川が扇状に伸び、それらの流域に集落が点在し、自然とともに人々が暮らしています。白川町の特色ある面白いコトやヒトを体験・交流ツアーを通じて知ってもらいたいと2020年に協議会を発足。白川町移住交流サポートセンターが事務局を担い、地域の資源を活かした体験型ツアーで交流・関係人口を増やし移住につながるファンづくりに努めている。

岐阜県白川町



## 企業の受入プログラム例

## ワーケーション施設「晴耕雨読 とみだ」

「晴耕雨読 とみだ」は岐阜の小さな里山に佇む、古民家を改修した静かな宿泊・ワークスペース。寄贈された約2,000冊の本が並ぶ空間は、まるで「泊まれる図書館」。一棟貸しの古民家なので、新規事業のアイデア出しや執筆・創作活動など、クリエイティブな仕事にぴったりです。

## 体験例

- ◆ アウトドアサウナ、サイクリング、お茶ピクニック体験
- ◆ 食育菜園での収穫や親子キャンプなど、地域と触れ合うアクティビティ
- ◆ 里山の自然と人の営みに寄り添う暮らしを体験



屋外で楽しむテントサウナやバレルサウナ(樽型の常設サウナ)で、里山の風景を五感で感じながらアロマでリラックスする。室内サウナとは全く違う開放感の中、極上のヒーリング体験ができるという。

## インタビュー

## ● 企業を受け入れるようになったきっかけは？

行政からの働き掛けもあり、「晴耕雨読とみだ」という宿を拠点としてワーケーションの推進を始めた。大手企業のモニターツアー、県のワーケーション事業、名古屋にある「なごのキャンパス」(インキュベーション施設)等への営業をきっかけに、興味を持った方が訪れるようになった。愛知県内中心である様々な他の地域からも訪れている。

## ● 企業は何を目的に訪れているのですか？

普段は離れて仕事をしている方々が白川町に集まって会議をされることが多い。旅行と親睦を兼ね、仕事の後に宿に併設されているサウナを楽しんだり、夕食を作って食べながら交流をしている方が多い。クラフトビールの醸造所などを案内し、地域の方との交流を楽しんでいただくこともある。異業種の方々が集まり、会議やコンテスト等の作戦会議をすることもある。

## ● 企業側のメリットをどのようにとらえていますか？

場所を変えたり普段出会わない方とお話することで息が抜けたり、仕事を頑張るきっかけになっていただけのではないかと。また、新しいアイデアなどが見えてくることもあるのではないかと。視野を広げていただき、働き方の幅も広がっていただけたらありがたい。

## ● 地域側のメリット・効果は？

ワーケーションは宿側のメリットというより地域全体のメリットが大きい。ワーケーションもできるし、仕事もできるため、気軽に来てくれるようになることで、地域のことをより深く知ってもらうきっかけにもなる。仕事も出来て居心地が良ければ移住に繋がっていく可能性もある。我々としては、施設の利用をきっかけにして、移住定住に繋がればうれしい。

食農体験ネットワーク登米協議会

地域の概要

宮城県登米市は平坦肥沃な耕地が広がり、農畜産業が盛んな地域。エリアの中でもラムサール条約登録湿地「伊豆沼・内沼」の自然はまさに圧巻。

日本一の群生と言われるハス鑑賞、日本一の飛来数を体感するバードウォッチングは、他地域では体験できないコンテンツ。

農村だからこそ感じられる、人・食・農・自然環境・風土に触

れながら個人の価値観を変化させる「ポジティブアプローチ」を提供できるのが当協議会の特徴。



企業の受入プログラム例

地域全体をフィールドに①知識習得・思考する、②見る・触れる・感じる、③つくる・行動する、④関係性を構築する、⑤達成・成果を出す、といった5つの要素をパッケージ化。ご要望に応じたプランを提案している。

体験プログラム例

体験教室

手づくりウインナー、ピザ、ブルーベリームース、豚まん、いちご大福、郷土料理（はっと）、農業体験など

所要時間：1.5時間～2時間

定員：5名～50名（50名以上は要相談）

料金：2,500円/人～

【利用事例】

- ◎社外イベント
◎労働組合のレクリエーション
◎お取引先様向けのイベント



インタビュー

● 企業を受け入れるようになったきっかけは？

最初は宮城県の労働組合が体験教室を年に1,2回程度利用しているのを見て、担当者に「仙台市にも同様の組織があるよ」といった形で紹介をしていただき、そのようなつながりで少しずつ開拓していった。また、企業向けの提案活動として「田んぼのオーナー企業にならないか」とか、社員食堂がある企業向けに「一度商品を使ってみないか」など、いくつかプランを持って行ったこともある。

● 企業は何を目的に訪れているのですか？

福利厚生関係では、一般的なレジャーではなく少し変わったコンテンツやサービスを探している人には話を聞いてもらいやすい。契約先の組合では、ソーセージの調理体験の利用券を発行し、好きな時に組合員が来訪する。体験料金は2500円でその半額または全額を事務局が負担するので利用者は安価に体験ができる。契約先企業によっては、例えば体験だけでなくレストラン利用券を提供するなど、余暇を楽しむ従業員のニーズに合わせてサービスは様々な方法がある。

● 利用する企業は？

福利厚生の契約で利用する企業は宮城県内が大多数で首都圏はわずか。社員旅行や研修、視察等は首都圏も多く、業種としては「食」「農業」に関連する企業が多い。郷土料理や農業体験、自然を散策するというやり方でも十分満足度は高いことがわかった。

● 今後の取り組み方針は

環境省が進める「自然共生サイト」(民間の取組等によって生物多様性の保全が図られている区域を認定)を活用したい。当協議会の自然環境に触れるプログラムをサイトを通じて企業が認知し、利用してもらえる企業が少しずつ増えてくれればよいと考えている。

南三陸町観光協会

南三陸町観光協会提供

地域の概要

南三陸町は宮城県北東部の本吉郡に属し、志津川湾をぐるっと囲む地形のため、自然の恵みを生かした養殖漁業が盛んな町。震災経験者である語り部による

町内ツアーをはじめ、南三陸の家々に飾られている「キリコ」製作体験等、さまざまな体験メニューが充実している。

地域のありのままの生活を感じてもらう「暮らし体験」を目的とし農林漁業の一次産業者や民宿を営む方、商工関係者など様々な家庭で受け入れをしている。

宮城県南三陸町



企業の受入プログラム例

語り部による学びのプログラム (例)

はじめて南三陸を訪問される方の被災地を知る導入や、震災や復興を学び直したい方にお勧め。

- 1.道の駅「さんさん南三陸」にて語り部ガイドと合流
2.震災講話:60分(室内にてスライド等使用)
3.浸水エリアの車窓及び徒歩での案内:60分～90分
(お客様のバスへガイド同乗・浸水エリアの説明)

南三陸町東日本大震災伝承館 南三陸311メモリアル

●ラーニングプログラム

被災した地域住民や産業人たちの貴重な経験から得られた証言をヒントにしながら、会社や家庭において自然災害への備えを考えていただくためのプログラムです。オリジナル防災ミニブックやワークシートに考えを記録して持ち帰っていただけます。

●南三陸町の研修プランについて

311メモリアルでのラーニングプログラムを柱に、被災エリアでのフィールドワークや住民、企業人との対話、交流を通じ、多角的でより深い学びを提供しております。



南三陸町観光協会提供

インタビュー

● 企業を受け入れるようになったきっかけは？

素地としては20年以上前からグリーン・ツーリズムの形で、地域住民が民泊体験や漁業体験、農業体験といった形で受け入れをしていた背景がある。東日本大震災を経て、語り部のプログラムを企業や学校、自治体の視察研修という形で受け入れを始めた。

● 企業は何を目的に訪れているのですか？

最初はボランティア支援で南三陸町に関係を持った企業がその後研修に来ていただくことが多い。それ以外は純粋に防災を学ぶといった観点から来訪していただいている。日本各地で災害が多発しているため、企業としてどういった体制を取らなければならないか、という点に興味や関心がある企業が多い。年間では大体100団体を超えている。

● 研修を通じた企業側のメリット・効果は？

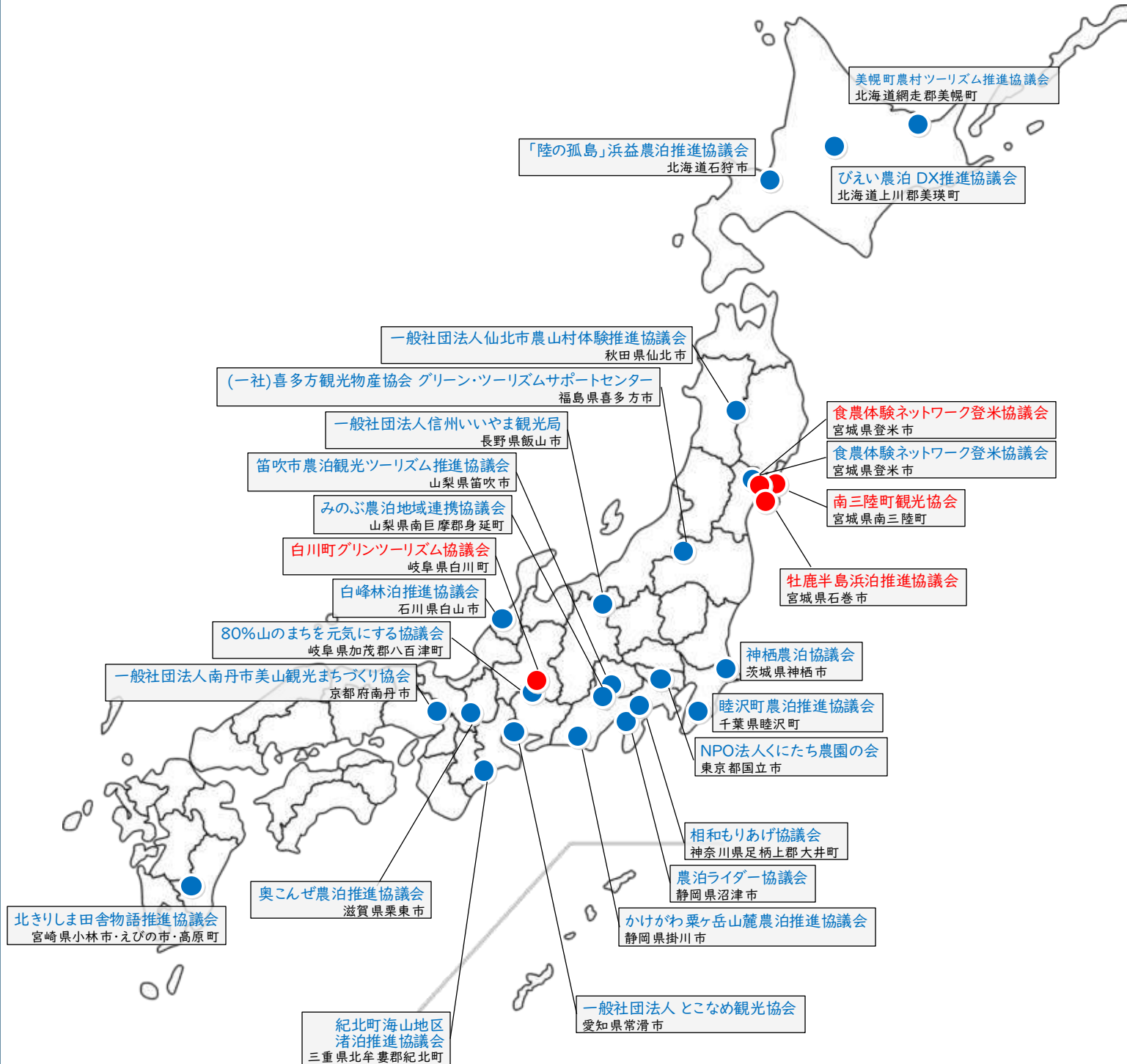
町内での宿泊や飲食にも波及していく点や関係人口の拡大。企業との接点が生まれることで、地域のブランディングにもつながっている。現地研修ができる場所としてブランディングできているのは大きな成果の1つ。また、企業側からは防災に限らない内容で研修を組みたいという要望も徐々に出てきたため、プラスアルファの要素も付加しながらを組み立てていこうと思っている。

● 今後の取り組み方針は

来訪する企業のニーズも各社多種多様で異なっているため、フルオーダーで作る難しさを感じている。今後も企業側のニーズを汲み取る活動を積極的に行いながらニーズに応じていきたい。企業の皆さんには、私たちの地域に限らず素晴らしい地域は多くあるため、より多くの地域を知っていただきたいと思っている。

## 企業の受入が可能な農泊地域

- 農泊地域における企業の活動事例
- 農泊地域



## 美幌町農村ツーリズム推進協議会 (美幌町役場みらい農業センター内)

- 人材育成(社員研修・越境学習等)

～事業主体が「町役場」なので安価な料金設定が可能～

## 地域概要

美幌町はオホーツクの空の玄関、女満別空港から車で15分の距離に位置し、阿寒、知床、網走へ繋がる国道4本が交差する町で様々な旅程を組み合わせることが可能な立地にあります。また、国内屈指の日照時間に恵まれた爽やかな気象条件の中で多彩な農産物が生産されており、スマート農業の普及も進んだ農業を基幹産業とする町で、その多彩で個性的な農業を体験していただくために「ファームステイ」、「ファームビジット」の受入を行っています。



「農家民泊を通じて”農業”を学び農家さんと交流する」

## 企業に提供可能な体験・プログラム(例)

- ・農家さん宅で行う「ファームステイ」、「ファームビジット」を通して基幹作物の馬鈴薯、小麦、甜菜、玉葱、人参、アスパラの栽培から生産までを学んでいただけます。
- ・美幌博物館と連携したSDGs体験プログラムとして「特定外来生物ウチダザリガニの駆除体験」を学芸員の指導のもと胴長を着て川に入り駆除体験を行い環境への影響について学んでいただけます。

- ・農家民泊を通じて”農業”を学び農家さんと交流する。
- ・地域基幹産業「てんさい」を生産から工場見学迄を学ぶ。
- ・博物館学芸員の指導の下、外来生物の影響を学ぶ。

## 基本情報・連絡先

一度に受入可能な人数 50名

宿泊施設 農家民泊先:20戸、町内宿泊施設:グリーンビレッジ、ホテルアルム等

所在地 北海道網走郡美幌町

ウェブサイト <https://www.town.bihoro.hokkaido.jp/>

連絡先 Tel: 0152-75-2324 Mail: [mirais@town.bihoro.hokkaido.jp](mailto:mirais@town.bihoro.hokkaido.jp)

## びえい農泊DX推進協議会

～ガストロノミーは地域の教科書。食べて未来を考える。～

- 福利厚生(社員旅行・ポイントプログラム等)
- 人材育成(社員研修・越境学習等)
- ワークেশョン

## 地域概要

日本で最も美しい村連合「丘のまち」として知られる美瑛町は、通過型観光が多く地域経済が豊かになりにくい現状である。都市圏と美瑛を繋ぎ、二拠点居住など関係人口を増やし新たな事業を開始。通過型観光から「宿泊・体験・食事」を核とした滞在型観光へ転換を推進している。酪農教育ファーム認定のファームズ千代田で、アニマルウェルフェアに配慮した酪農体験や、命や環境との共生を学ぶ食旅、地域循環を理解するワークショップを提供している。



「北海道美瑛町アニマルウェルフェア牧場見学」

## 企業に提供可能な体験・プログラム(例)

酪農畜産、観光牧場、レストラン、農泊を営んでいるファームズ千代田を中心に美瑛町全体でワークショップを提供。・「食と命」体験で、大規模な酪農畜産業の持続可能性について考える。・「地域食材ガストロノミーの推進」食・農・観光の専門家がリアルな現場の取り組みを紹介。・「SDGsと暮らしを考える」十勝岳ジオパーク展示施設を活用し、火山・自然・防災・循環型農業を学ぶ

【集合】美瑛駅、又は旭川空港【体験】乳搾り、乳製品食品加工体験(バター、チーズ等)ワークショップ、じゃがいも掘り等の収穫体験【講和】「100のこと」ワークショップ【地域課題、都市と農村の交流を100の事例を挙げながら紹介】ディスカッション【夕食】プロシェフの美瑛食材コース料理、トマト農家の廃材アップサイクルカレー、有機JAS美瑛米の調理実習、交流等【宿泊】美瑛町内研修施設、千代田コテージ他

## 基本情報・連絡先

一度に受入可能な人数 牧場内コテージ定員4人×2棟。事前相談で4人～200人

宿泊施設 美瑛町内の研修施設、近隣のホテル、コテージ、ペンションを紹介

所在地 北海道上川郡美瑛町

ウェブサイト [https://note.com/biei\\_farmstay](https://note.com/biei_farmstay)

連絡先 Tel: 080-4116-7041 Mail: [ishikawaf@food-creative.com](mailto:ishikawaf@food-creative.com)

## 「陸の孤島」浜益農泊推進協議会 (事務局:NPO法人ezorock)

～海が見える研修施設から「陸の孤島」の地域へ～

### 地域概要

浜益は、札幌市中心部から車で約90分の豊かな山々と海に囲まれた石狩市最北の地域です。約40年前まで主な交通手段は船もしくは険しい山道であり、かつては「陸の孤島」とも呼ばれるほどでした。独自の地形と豊かな自然環境に育まれた地域循環型の暮らしが現在でも色濃く根付いています。札幌近郊ではありながら、非日常を体感できるこの地域で、地域住民・関係人口が一体となりながら「懐かしくも新しい」暮らしや体験の提案を行っています。

「研修やワーケーションに利用可能な海が見える一棟貸しの複合施設「ガル」

- 人材育成(社員研修・越境学習等)
- ワーケーション
- リトリート



### 企業に提供可能な体験・プログラム(例)

- ✓海や山に囲まれた非日常の研修施設を一棟貸し！研修やワーケーションを実施
- ✓豊かな自然環境と歴史・暮らしが育んできた実践的なSDGs、ネイチャーポジティブを学ぶ体験プログラム、地元食材を使用したBBQなどアウトドスタイルでリラックス＆交流✓日本有数の過疎地域で、リアルな地域づくりと地方創生を考える
- ※期間、内容、送迎対応など臨機応変にご相談に応じます

【集合】海が見える複合施設「ガル」(一棟貸し)  
【体験】果樹園での収穫・自然体験、漁港見学ツアー、ネイチャーサウナ体験 ほか※体験プログラムと併せて、ワーケーションや社内研修のご相談に応じます。アイスブレイク等研修提供可能。【食事】地元食材を使用したBBQ&焚火体験【宿泊】ゲストハウス「はまますベース」(一棟貸し)&明治10年開園の果樹園におけるグランピングキャンプ ほか

### 基本情報・連絡先

一度に受入可能な人数	20名程度 (中長期滞在の場合は要相談)	宿泊施設	ゲストハウス「はまますベース」ほか
所在地	北海道石狩市浜益区浜益	ウェブサイト	<a href="https://note.com/rikunokoto">https://note.com/rikunokoto</a>
連絡先	Tel : 011-562-0081 Mail : <a href="mailto:info@ezorock.org">info@ezorock.org</a>		

## 食農体験ネットワーク登米協議会(事務局:伊豆沼農産)

～食農体験で新しい都市農村連携モデルを創出する！～

### 地域概要

登米市は平坦肥沃な耕地が広がり、農畜産業が盛んな地域です。エリアの中でもラムサール条約登録湿地「伊豆沼・内沼」の自然はまさに圧巻。日本一の群生と言われるハス鑑賞、日本一の飛来数を体感するバードウォッチングは、他地域では体験できないコンテンツです。農村だからこそ感じられる、人・食・農・自然環境・風土に触れながら個人の価値観を変化させる「ポジティブアプローチ」を提供できるのが、当協議会の特徴です。

「活動は(有)伊豆沼農産からスタート。店名のくんべるはドイツ語で「仲間」という意味があります」

- 福利厚生(社員旅行・ポイントプログラム等)
- 人材育成(社員研修・越境学習等)
- ワーケーション



### 企業に提供可能な体験・プログラム(例)

地域全体をフィールドに①知識習得・思考する、②見る・触れる・感じる、③つくる・行動する、④関係性を構築する、⑤達成・成果を出す、といった5つの要素をパッケージ化。ご要望に応じたプランを提案します。<こんな方におすすめ>・レクや社員旅行等を企画し、社員の親睦を深めたい・SDGs、ネイチャーポジティブに関心がある・地方創生、地域資源の付加価値化を知りたい

【集合】伊豆沼農産  
【講話】農業の六次産業化、農村の産業化モデル講義 & ディスカッション  
【体験】郷土料理体験、地域住民との交流  
【昼食】農場レストラン  
【体験】農家訪問、農業体験  
【夕食】農園バーベキュー  
【宿泊】近隣の宿泊施設(民泊、簡易宿所、ホテルなど)

### 基本情報・連絡先

一度に受入可能な人数	40名	宿泊施設	空き家をリフォームした簡易宿所、農家民泊、ホテルなど、ご希望に合わせた施設をご紹介します。
所在地	宮城県登米市迫町新田字前沼149-7	ウェブサイト	<a href="https://www.izunuma.co.jp/">https://www.izunuma.co.jp/</a>
連絡先	Tel : 0220-28-2986 Mail : <a href="mailto:travel@izunuma.co.jp">travel@izunuma.co.jp</a>		

## 一般社団法人仙北市農山村体験推進協議会

～農村地域で自然・文化を学ぶ企業向け体験～

### 地域概要

秋田県仙北市は、秋田県を代表する有名な観光スポットが多くあり、日本一の水深を誇る田沢湖をはじめ、乳頭温泉郷や、角館の武家屋敷通りなど、四季を通じて多くの観光客が訪れる。また、グリーン・ツーリズムの先進地とも呼ばれている地域でもあり、地元農家での農山村体験、恵まれた自然を活用しての自然体験等、また地域に根付いた劇団による文化体験など、仙北市の特色を活かした体験を提供しており、国内外の観光客にも人気のコンテンツとなっている。



「秋田県屈指の観光地」

### 企業に提供可能な体験・プログラム(例)

秋田県仙北市では、企業向けに自然・文化・交流を組み合わせた研修旅行が可能。秋田県屈指の観光スポットである田沢湖や角館の武家屋敷通りなどを巡るとともに、農家民宿での農山村体験、アウトドアアクティビティ、文化体験など多彩なプログラムを提供。グリーン・ツーリズム先進地として地域資源を学び、チームビルディングや人材育成にも最適な「劇団わらび座」での研修も実施できる。

- ①有名観光地視察(角館の武家屋敷通り・田沢湖・乳頭温泉郷など)
  - ②地域資源を活用した体験コンテンツ(蔵見学ツアー、伝統工芸品作り、アウトドアアクティビティなど)
  - ③農家民宿等での農山村体験・地域交流
  - ④「劇団わらび座」でのシアターエデュケーション
- ※行程などご要望に応じて調整します。  
※各農泊施設ではワーケーションに対応したWi-fiを完備

### 基本情報・連絡先

一度に受入可能な人数	40名程度 (40名以上の場合は要相談)	宿泊施設	・仙北市内農家民宿等の農泊施設に分宿 ・仙北市内宿泊施設(あきた芸術村温泉ゆほぼ等)
所在地	秋田県仙北市	ウェブサイト	【地域協議会HP】 <a href="https://semboku-gt.jp/">https://semboku-gt.jp/</a> 【あきた芸術村HP】 <a href="https://www.warabi.or.jp/">https://www.warabi.or.jp/</a>
連絡先	Tel : 0187-43-2277 Mail : <a href="mailto:info@semboku-gt.jp">info@semboku-gt.jp</a>		

## (一社)喜多方観光物産協会 グリーン・ツーリズムサポートセンター

～農家との触れ合い、地域資源や農業の魅力を体感～

### 地域概要

福島県会津地方の北西部に位置する喜多方市は、肥沃な会津盆地の土壌と豊富な水資源に恵まれ、農業が盛んな地域です。農家の高齢化、遊休農地の増加、農家所得の減少などの課題に対応するため、平成18年に「グリーン・ツーリズムのまち宣言」を行い、農業体験、郷土料理づくり、伝統文化体験をはじめ、農家の暮らしを体験できる農泊体験など、多様な地域資源を活用する取組を進めており、地域産業の振興と地域の活性化に取り組んでいます。



「農業体験」

### 企業に提供可能な体験・プログラム(例)

- 「感動の共有」  
旬の食事、農家の営み、地域住民との交流を通じて、都市では得られない体験と感動を共有できます。
- 「魅力的な地域創造」  
地域の人材や資源を活かした取り組みに触れ、持続可能で魅力ある地域づくりの現場を体感できます。これらを題材にした課題解決学習も取り組めます。
- 「心の癒し」  
豊かな自然とあたたかな人との触れ合いにより、心安らぐひと時を。

【宿泊】地元の農家さんの家に泊まり、家族の一員として過ごします。  
【体験】農家の仕事や暮らしをありのまま体験できます。  
・農業体験(草取り、種まき、圃場整備、収穫、仕分けなど)  
・郷土料理づくり体験  
・工芸品づくり体験  
・除雪体験(12月下旬～3月上旬)  
【講話】地域資源を生かした農業経営と6次産業化の取組

### 基本情報・連絡先

一度に受入可能な人数	20～30名	宿泊施設	市内の農家民宿に分泊
所在地	福島県喜多方市	ウェブサイト	<a href="http://www.kitakata-kanko.jp/category/index.php?lc=12">http://www.kitakata-kanko.jp/category/index.php?lc=12</a>
連絡先	Tel : 0241-24-4488 Mail : <a href="mailto:gt@kitakata-kanko.jp">gt@kitakata-kanko.jp</a>		

# 神栖農泊協議会

～住民とともに多様な課題に挑戦できる地域～

- 人材育成(社員研修・越境学習等)



「地元の方を全国の医療や工学系大学生が囲んで夕食会」

## 地域概要

茨城県神栖市は、農業・漁業・工業が発展する一方で、他地域と同様に医師不足などの課題を抱えています。こうした状況を受け、市民・企業・医療機関・行政が協働し、多様性や相互理解、持続可能性をテーマとした地域づくりを進めています。例えば、障害者が農業の現場で活躍する「農福連携」や、医学生が他者の視点を学ぶ「異業種実習」、地元の魅力や課題を見つける「地域診断」など独自の取り組みで、市の強みや魅力を引き出す努力が行われています。

## 企業に提供可能な体験・プログラム(例)

大学生向けのプログラムとして行ってきましたが、社員さんも大歓迎です。風力発電や農業の現場で軽作業を行い、業務理解と共に現場の声からリアルな課題感を把握します。また、まち歩きやインタビューを通じて地域の歴史や文化、現状の多角的な調査活動を行います。最後は自身をコンサルタントと見立てて、発見した強みや課題を分析し、独自の解決策を練り上げて提言・発表を行います。

- ・現場で作業をしながら現場の課題感の把握(1～2時間)
- ・テーマを決め、カメラを手にまち歩き(2～3時間)
- ・地元の方からの説明や意見交換会(約1時間)
- ・医療者・コミュニティナース、大学生を交えた意見交換会(日程は要相談)
- ※進め方は担当者と相談して柔軟に決定します。

## 基本情報・連絡先

一度に受入可能な人数 7名

所在地 茨城県神栖市若松中央4丁目37

連絡先 Tel: 090-2659-8000 Mail: [info@kamisunouhaku.com](mailto:info@kamisunouhaku.com) / [h.iida@agri-newwinds.com](mailto:h.iida@agri-newwinds.com)

宿泊施設 広々としたリビング。清潔感のある一軒家。床暖房完備。

ウェブサイト <http://kamisunouhaku.com>

# 睦沢町農泊推進協議会

～米作り体験や未来年表を通して社会課題を考える～

- 人材育成(社員研修・越境学習等)
- ワークーション



「岩井ファームキャンプサイト、ゲストハウス室内」

## 地域概要

東京から約1時間半で行ける、里山の風景をたくさん残した房総の静かな農村で、九十九里浜の海岸にも車で15分ほどの千葉外房エリア。都市と農村の共生・交流を通して地域の振興・活性化ならびにまちづくりに寄与することを目的として、地域での滞在、体験、食による交流と学びをプロデュースしています。

## 企業に提供可能な体験・プログラム(例)

SDGs、ネイチャーポジティブ、資源循環、地方創生などの学びに興味がある企業人向けに、米作り体験などの里山体験や、当協議会の取り組み事例の紹介と未来年表を使った、ワークショップを提供。宿泊は、ゲストハウスおよびキャンプサイトでテント泊。夕食は、房総ジビエ(猪)や、地元食材パエリアなどをアウトドアでの調理体験。夜は焚き火を囲んで、キャンプファイヤー。その他相談に応じます

- 【体験】米作り体験(田植え、草取り、稲刈りなど)や野菜の収穫体験など
- 【ワークショップ】未来年表を使ったワークショップ
- 【夕食】房総ジビエ(猪)調理、焚き火で屋外調理
- 【宿泊】岩井ファームゲストハウスおよびキャンプサイトでのテント泊

## 基本情報・連絡先

一度に受入可能な人数 4～30名程度

所在地 千葉県睦沢町岩井深田522

連絡先 Tel: 受付はメールにて Mail: <https://6238.chiba.jp/contact-us/>

宿泊施設 岩井ファームゲストハウス、キャンプサイトでのテント泊

ウェブサイト <https://6238.chiba.jp/kyoiku2025/>

# NPO法人くにたち農園の会

～一橋大生らが運営。若者×都市農業の熱量を感じる滞在～

- 人材育成(社員研修・越境学習等)
- 福利厚生(社員旅行・ポイントプログラム等)
- ワークーション



「学生団体「たまこまち」と運営するゲストハウス「ここたまや」

## 地域概要

東京都国立市谷保。ここは都市農業の風景が残る貴重なエリアです。この地で、一橋大学を中心とした学生団体「たまこまち」が、築50年のアパートをセルフリノベーションし、ゲストハウス「ここたまや」を運営しています。NPOと連携しながら、若者の斬新な視点で「農」ある暮らしと地域コミュニティを再生させており、多世代が交わる新たな活動拠点として注目を集めています。

## 企業に提供可能な体験・プログラム(例)

<こんな人に最適>

✓ 学生が主体となって地域課題に取り組むプロセスや、Z世代の価値観を肌で感じたい。✓ 都市農業と若者の力を掛け合わせた、新しい地方創生・コミュニティビジネスの事例を学びたい。✓ リノベーション空間での滞在を通じ、柔軟な発想やチームの結束力を高めたい。

- ◆【集合】ゲストハウス「ここたまや」 ◆【体験】学生ガイドによる地域散策「やばさんぼ」&農園での収穫体験 ◆【講和】学生運営メンバーとの交流会(地域活動への想いや運営の裏側について) ◆【夕食】提携農園「くにたちはたけんぼ」等での採れたて野菜BBQや自炊体験 ◆【宿泊】学生が運営するゲストハウスにて宿泊

## 基本情報・連絡先

一度に受入可能な人数 6～10名(3部屋・貸切応相談) ※宿泊せず日帰りの場合は50名程度まで可(内容によっては100名も不可能ではない)

所在地 東京都国立市谷保

連絡先 Tel: 042-505-7200 Mail: [Kunitachinouen@gmail.com](mailto:Kunitachinouen@gmail.com)

宿泊施設 ゲストハウス「ここたまや」(学生の手で改修された昭和レトロなアパート)

ウェブサイト <https://kokotamaya.com/>

# 相和もりあげ協議会

(一般社団法人 神奈川大井の里体験観光協会)

～企業と地域で創る SDGsモデル拠点～

- 福利厚生(社員旅行・ポイントプログラム等)
- 人材育成(社員研修・越境学習等)
- ワークーション

## 地域概要

目の前に富士山が望め、日本の原風景・里山の暮らしが残る大井町。都心から約90分と便利なアクセスが魅力の神奈川県西部、足柄地域に位置しています。南関東最古級の稲作の地である大井町は昔から水が豊かな町。酒蔵が町内に2蔵あり、酒蔵見学ツアーも。地域課題を楽しく解決する！を目的に地域住民が指導者となり、SDGsをテーマとした越境学習プログラムとして、様々な「体験型」観光を実施。行政地域一丸となって地方創生に取り組む。



「地元食材、地酒で大井町ならではの懇親会・交流会」

## 企業に提供可能な体験・プログラム(例)

- ◆社員旅行/農業体験や収穫体験、地酒や地元食材での親睦交流
- ◆人材育成・CSR活動/体験活動やチームビルディングによる社員研修、例:存続が危惧されるみかん農家での総もぎ体験、獣害に苦慮する荒廃竹林の整備・管理等
- ◆ワークーション(SDGs/越境学習)/地域課題とビジネスマッチングの機会創出、具体的なSDGsの取組をケーススタディとした越境学習

- 【集合】大井町農業体験施設 四季の里
- 【体験】地域の課題の理解と、農業体験によるSDGsへの取り組みを体験(みかん総もぎ体験、竹林整備など)
- 【ワークショップ】地域の現状を把握し、グループワークを通じて課題解決策を考える。
- 【食事】そば打ち・ピザ焼き・竹筒ごはん炊飯体験でランチ交流。相模湾で獲れた新鮮な魚や大井町の旬の野菜、特産の桜花漬げや地酒で親睦交流会。

## 基本情報・連絡先

一度に受入可能な人数 数名から受入可 ※内容により応相談

所在地 神奈川県足柄上郡大井町柳248

連絡先 Tel: 0465-43-6309 Mail: [office@taikenkankou.com](mailto:office@taikenkankou.com)

宿泊施設 近隣旅館・ホテル(小田原・箱根・信玄の隠し湯中川温泉など)、民泊、最乗寺の宿坊

ウェブサイト <https://taikenkankou.com>

# 白峰林泊推進協議会

～白山奥山人の里で創出するビジネスエコシステム～

- 人材育成(社員研修・越境学習等)
- ワークーション
- 参加者の専門分野やテーマに合わせたカスタムツアー

## 地域概要

石川県の最南端、白山の登山口にある人口約620人のまち。日本有数の豪雪地帯で「雪の白山」「花の白山」として知られる白山国立公園の自然と、山岳信仰の歴史を持つ。自然に寄り添い、敬意を払いながらも、巧みに使いこなし生きる奥山の暮らしが受け継がれており、「ユネスコ世界ジオパーク」と「ユネスコエコパーク(生物圏保存地域)」に重複認定されている日本唯一の場所。山村の、豪雪地帯で育まれた「白峰重伝建地区のまちなみ」が残る。



「文化体験を通して社会課題について考える」

## 企業に提供可能な体験・プログラム(例)

金沢工業大学宮下教授が提唱する、建築的思考を用いた新しい価値創造のメソッド「関連学」による地域全体をフィールドとした越境学習を提供。白峰地域の豊かな文化・自然を現地で体験・深掘りすると共に、参加企業の特徴や強みをリソースとして取り込み、地域住民や学生がダイレクトにグループワークに参画する中で、経済・環境・社会の調和を図るビジネスエコシステムを創出する。

・白峰地域の特徴紹介と抱えている社会課題のレクチャー  
 ・「関連学」メソッドのレクチャー・ガイドスタッフによる地域フィールドワーク  
 ・山の中で暮らす「出作り」文化体験  
 ・田舎裏をばさんで地元住民とディスカッション  
 ・「関連学」を用いたエコシステムワークショップ  
 ・大学の産学連携担当者との交流プログラム  
 ・古民家での成果発表会

## 基本情報・連絡先

一度に受入可能な人数	10名	宿泊施設	古民家一棟貸し宿や温泉旅館など人数に合わせてご用意します
所在地	石川県白山市白峰口131	ウェブサイト	
連絡先	Tel : 090-4686-9238 Mail : <a href="mailto:rinpaku.shiramine@gmail.com">rinpaku.shiramine@gmail.com</a>		

# 笛吹市農泊観光ツーリズム推進協議会

～世界農業遺産の果樹援農体験、課題解決、農の魅力体験～

- 福利厚生(社員旅行・ポイントプログラム等)
- 人材育成(社員研修・越境学習等)
- 農泊リトリートプラン 働く人の心に耕す時間を

## 地域概要

世界農業遺産に認定地域の果樹地帯である。桃、葡萄の生産量日本一、又ワイン産業や果物の加工業が盛んな地域であり、東京からも1時間40分と公共機関でも来れる距離感の立地である。富士山からも40分と観光資源も豊富で石和温泉もある地域であり、大きい宿泊温泉も充実している。近年農業人口減や耕作放棄地による地域課題もあり遺産認定は受けたものの今後どう維持していくか重要な課題を抱えている地域である。



「働く人の心に耕す時間を。」

## 企業に提供可能な体験・プログラム(例)

体験の時期や目的によりアレンジ可能。世界農業遺産認定地域だが高齢化、人手不足、山間地域ほど特別な土壌に恵まれた作物が育つが、生産効率が悪くマンパワー不足の課題があり、耕作放棄地へと今後なってしまう課題がある。援農体験から地域理解と課題解決、作物を作る喜びから農業への関心を高めて共同作業をしながらチーム力を高め、企業と地域を支え合う関係づくりに繋がる体験、食体験を組み合わせたプランを提供。

季節毎の援農体験プラス関わった果物や加工品が会社に届くプログラム。季節と目的に合わせて組み合わせるプラン。例 桃の袋掛け作業と桃が会社に届く。葡萄の傘掛け作業と葡萄が会社に届く。桃や葡萄の収穫作業と加工品(ジュースやワイン)が会社に届く。地域の農家の課題を理解し援農と地域を支える交流やリトリートに。

## 基本情報・連絡先

一度に受入可能な人数	30名	宿泊施設	農泊体験宿 桃源の家、庭園の家、石和温泉宿
所在地	山梨県笛吹市境川町三柵140、 笛吹市一宮町塩田379-1、石和温泉宿	ウェブサイト	<a href="https://www.fuefuki-nouhaku.jp">https://www.fuefuki-nouhaku.jp</a>
連絡先	Tel : 080-8257-7579 Mail : <a href="mailto:cook.marusa.marche@gmail.com">cook.marusa.marche@gmail.com</a>		

# みのぶ農泊地域連携協議会

～一年間の栽培から味噌づくりまで一貫して体験～

- ワークーション



「あけぼの大豆収穫体験の様子」

## 地域概要

山梨県南部、富士川と山々に囲まれた身延町は、古くから豆類栽培が盛んです。特に「あけぼの大豆」は、標高300～700mの曙地区を中心とする町内で栽培される在来種。昼夜の寒暖差と霧が多い特有の気候・土壌が、通常より大粒で甘みが強い大豆を生み出します。限られた地域と手作業による生産のため希少性が高く、「幻の大豆」と呼ばれています。町では、この特産品を活かした地域活性化に取り組んでいます。

## 企業に提供可能な体験・プログラム(例)

一年を通じて「幻の大豆」を深く学ぶ機会を提供します。参加者は6月初旬の播種から、厳しい夏場の草取り・灌水を経験。収穫期には10月の枝豆収穫と12月の大豆収穫を行います。さらに、収穫した大豆を使い、3月には伝統的な味噌づくりまでを実践。栽培から加工まで一貫して地域特産品の価値創造を学びます。

・播種(種まき): 6月中旬～6月下旬  
 ・圃場の管理: 灌水(水やり)や草取り 7月～9月  
 ・枝豆収穫: 10月中旬～下旬(幻の枝豆を試食)  
 ・大豆収穫: 12月初旬～12月中旬  
 ・みそ作り: 3月初旬

## 基本情報・連絡先

一度に受入可能な人数	10名	宿泊施設	宿坊 覚林坊、迎賓館えびす屋
所在地	山梨県南巨摩郡身延町身延3510	ウェブサイト	<a href="https://minobunavi.jp/">https://minobunavi.jp/</a>
連絡先	Tel : 0556-62-0014 Mail : <a href="mailto:minobu@kakurinshoia.com">minobu@kakurinshoia.com</a>		

# 一般社団法人信州いいやま観光局 (飯山市農福観連携協議会)

～この地域のワンストップ窓口として対応します～

- 人材育成(社員研修・越境学習等)
- 福利厚生(社員旅行・ポイントプログラム等)

## 地域概要

東京駅から2時間以内で訪れることができる長野県・飯山市。豪雪地としても有名で、冬はスキー、スノーシュー体験が可能です。4月～11月は、長野県、新潟県の県境に連なるロングトレイル・信越トレイルでのトレッキング、カヌー、ラフティング体験を通してのチームビルディング、和紙、彫金といった伝統工芸体験など、この土地ならではの体験が可能です。また、信州いいやま観光局では多くの移住者が働いており、移住者目線での取組も行っています。



「森林セラピー体験」

## 企業に提供可能な体験・プログラム(例)

- 日本で最初のロングトレイル、信越トレイルを歩いて日本の里山文化を体感
- 森林セラピー基地での森林セラピー体験
- 国の重要文化的景観にも選定されている「小菅集落」での地元集落へのお手伝い＝おてんま(この地域での呼び方)への参加を通して地方都市の実態を理解
- 行政とのつながりも強い組織なので、行政の取組の話や聞く機会も設けられます

10時30分:北陸新幹線飯山駅集合(東京から最短1時間40分程) 午前:信州いいやま観光局 事務局 長より、飯山市の説明&DMOとしての取組について 午後:地元企業訪問/地域事業者見学等 夕方:宿泊施設での地元の食材を使った料理・温泉 夜:ワークショップの実施 など

## 基本情報・連絡先

一度に受入可能な人数	100名(分宿が可能であれば)	宿泊施設	戸狩温泉地域の農家民宿、斑尾高原エリアのホテル、ペンション、なべくら高原・森の家コテージ等
所在地	長野県飯山市内	ウェブサイト	<a href="https://www.iivama-ouendan.net/">https://www.iivama-ouendan.net/</a>
連絡先	Tel : 0269-62-3133 Mail : <a href="mailto:info@iivama-ouendan.net">info@iivama-ouendan.net</a>		

# 80%山のまちを元気にする協議会

～歴史の発展・変化から知る、森と水と暮らしの循環体験～

## 地域概要

八百津町は、豊かな自然と山里文化、舟運で栄えた町である歴史的背景が深く根付いた地域である。森や川、山に囲まれ、八百津祭り、久田見祭りなど大きな祭りが2つあるなど伝統行事や歴史施設も多く、観光資源としての魅力が高い。一方で人口減少・過疎化への対応を明示した計画を持ち、移住・地域づくりにも積極的である。自然資源を活かした持続可能な暮らしや、森林との関わりを重視する生活を望む人にとって、非常に可能性のある町と言える。



「八百津町 蔵元やまだ 酒蔵見学」

- 福利厚生(社員旅行・ポイントプログラム等)
- 人材育成(社員研修・越境学習等)

## 企業に提供可能な体験・プログラム(例)

歴史と文化から見えてくる森と暮らしのつながり。未来に向けてさらによきつながりにするためには？ スマホでWEBARを活用した、八百津の歴史・文化・環境を知るまち歩きと、地場産業を知る体験(酒造・醸造・農業・林業)、1泊2日で「水と緑のまち八百津」の食の体験も交えながら、八百津の「森のある暮らし」を体験。

八百津の食材を使用した夕食(季節ごとにテーマを変えて醸造・発酵・保存食/ジビエ/ほう葉寿司などの郷土料理)を学びながら楽しんでいただき、宿泊

↓

季節ごとにテーマを変えた体験  
酒造・醸造・農業・林業 地場産業・歴史文化に関する体験

↓

WEBARを活用した「舟運で栄えた八百津」を知るまち歩き

## 基本情報・連絡先

一度に受入可能な人数

2人~40人  
(相部屋が可能であれば40名までOK)

宿泊施設

泊り家あかね(最大収容人数 40人)  
まつや旅館((最大収容人数 8名)

所在地

岐阜県加茂郡八百津町八百津3607-8

ウェブサイト

<https://nohaku802.vaotsu-mall.com/>

連絡先

Tel : 0574-40-5980 Mail : [nohaku802@vaotsu-mall.com](mailto:nohaku802@vaotsu-mall.com)

# かけがわ栗ヶ岳山麓農泊推進協議会

～ロゲイニングによる社内コミュニティと心身の清浄化～

- 福利厚生(社員旅行・ポイントプログラム等)
- 人材育成(社員研修・越境学習等)
- ワークেশョン

## 地域概要

当地は茶どころ静岡県内でも屈指の茶産地で、主に「深蒸し茶」の生産が盛んに行われている。またその栽培方法は自然環境を活用した「循環型農業」で、人と自然の共生を約200年継承してきたことが評価され「世界農業遺産」に認定されている。



「茶文字」をバックに茶畑が広がるフィールドハスタートの様子」

## 企業に提供可能な体験・プログラム(例)

美しい茶畑が広がるフィールド活用したフィールドアスレチックプログラム

「ロゲイニング」をお楽しみください。

- ・社員同士の交流 → チームビルディングプログラム
- ・地元茶農家との交流 → 異日常体験

「茶草場農法」は冬(11月~2月)の茶農家の主な仕事です。寒風の中で行うこの作業は茶農家にとって最も重労働で、高齢者の多い茶農家にとっては負担が大きい為、茶農家の指示のもと、その作業を手伝いするとともに、作業を体感することで日本の農業の未来を考えるプログラム体験(作業)内容の一例

①茶草運び ②茶草カット ③茶草敷き ④茶園整備  
休憩のお茶タイムや昼食は茶農家との交流を!

## 基本情報・連絡先

一度に受入可能な人数

500名

宿泊施設

少人数の場合は地域内の農家民宿で、グループ団体の場合は市内温泉旅館やホテルを手配します。

所在地

静岡県掛川市大野1708

ウェブサイト

<https://chanosato.net/>

連絡先

Tel : 0537-54-1464 Mail : [info@tabinoya-oldjapanese.com](mailto:info@tabinoya-oldjapanese.com)

# 農泊ライダー協議会(にしうらさざなみファーム)

～環境再生、地方創生に興味があり、自分も何かできることを考えたい～

## 地域概要

沼津市西浦木負は駿河湾と富士山を望む沿岸集落で、みかん栽培を中心とした農林水産業が営まれてきた。一方、人口減少と高齢化により後継者不足が深刻化し、耕作放棄地の増加が課題となっている。豊かな自然景観と農業資源を活かし、観光や体験型滞在と結びつけた地域再生が求められている。

- 研修・フィールドワーク
- インターンシップ
- 地方と都市の共創に興味があり、自分も何かできることを考えたい。



「駿河湾越しに臨む富士山」

## 企業に提供可能な体験・プログラム(例)

無農薬みかん・果樹栽培体験、収穫・商品化ワークショップ、農泊・キャンプを通じたチームビルディング、地方創生・一次産業の実践型フィールドワークを提供。企業研修や大学のPBL・ゼミ宿舎として、地域課題解決と実体験を融合したプログラムが可能。

- ◆【集合】にしうらさざなみファーム
- ◆【体験】収穫体験
- ◆【講和】代表による地域での取り組みについての講和&ディスカッション
- ◆【夕食】当園で採った野菜たっぷりのカレーをスタッフも一緒に皆で囲みます。\*
- ◆【宿泊】当園でのキャンプ宿泊

## 基本情報・連絡先

一度に受入可能な人数

45名(大人のみ)~  
75名(大人+子供)

宿泊施設

基本:それぞれ持参のテントにて農園内に宿泊  
又は:希望者には近隣の民宿を紹介

所在地

静岡県沼津市西浦木負420

ウェブサイト

Instagram / niko.robin2(にしうらさざなみファーム)  
X / @MtFuji792289399 (にしうらさざなみファーム)

連絡先

Tel : 協議会事務局 : タビーナ静岡 055-934-7117 Mail : [nishiura.sazanamifarme@gmail.com](mailto:nishiura.sazanamifarme@gmail.com)

# 一般社団法人とこなめ観光協会

～常滑でグルメ・温泉・体験を満喫できるワーケーションを！～

- ワークেশョン
- リフレッシュ効果

## 地域概要

中部国際空港セントレアやAichi Sky Expo(愛知県国際展示場)を有する中部の玄関口・常滑市。やきもの散歩道では常滑焼の歴史に触れ、陶芸体験を通じてものづくりの文化を体感できます。伊勢湾に面した温暖な気候のもと自然の恵みに育まれた食にも出会えるまちです。



「常滑の町を見守る巨大招き猫、とこにゃん」

## 企業に提供可能な体験・プログラム(例)

海苔工場での見学と焼きのり食べ比べによる学びの体験や、やきもの散歩道でのまち歩きやショッピングを通して創造性を刺激します。陶芸家によるガイドも手配可能です。また、天然温泉とBBQを備えた旅館(またはグランピング施設)に宿泊し、ゆったりとした環境でリラックスし交流を深めることができます。

- 【体験】海苔工場で見学・焼きのり食べ比べ...2時間
- 【まち歩き・ショッピング】やきもの散歩道まち歩き...2時間
- 【宿泊】天然温泉&BBQができる旅館(又はグランピング)で宿泊

## 基本情報・連絡先

一度に受入可能な人数

10名

宿泊施設

坂井温泉 湯本館

所在地

愛知県常滑市坂井西側1

ウェブサイト

<https://sakaionsen-yumotokan.com/>

連絡先

Tel : 0569-89-6561 Mail : [mail@tokokan.net](mailto:mail@tokokan.net)

